

自己免疫性肝炎、 原発性胆汁性胆管炎について

県立加古川医療センター 薬剤部

目次

- ・ 自己免疫性肝炎 (AIH) の薬物治療
- ・ 原発性胆汁性胆管炎 (PBC) の薬物治療

自己免疫性肝炎(AIH)の薬物治療

(1) 副腎皮質ホルモン剤(ステロイド剤)

(2) 免疫抑制剤

(3) 胆汁酸製剤

(1) 副腎皮質ホルモン剤(ステロイド剤)

プレドニン[®]錠 (プレドニゾロン)



- ・副腎皮質という組織から分泌されているホルモン
- ・抗炎症作用・抗アレルギー作用・免疫抑制作用をもつ
- ・治療で使用する際は、軽症～中等症で30～40mg/日
重症で60mg/日

副腎皮質ホルモンの作用例

例1) 糖代謝に対する作用

肝臓で糖を作ることで血糖値を調節しています。

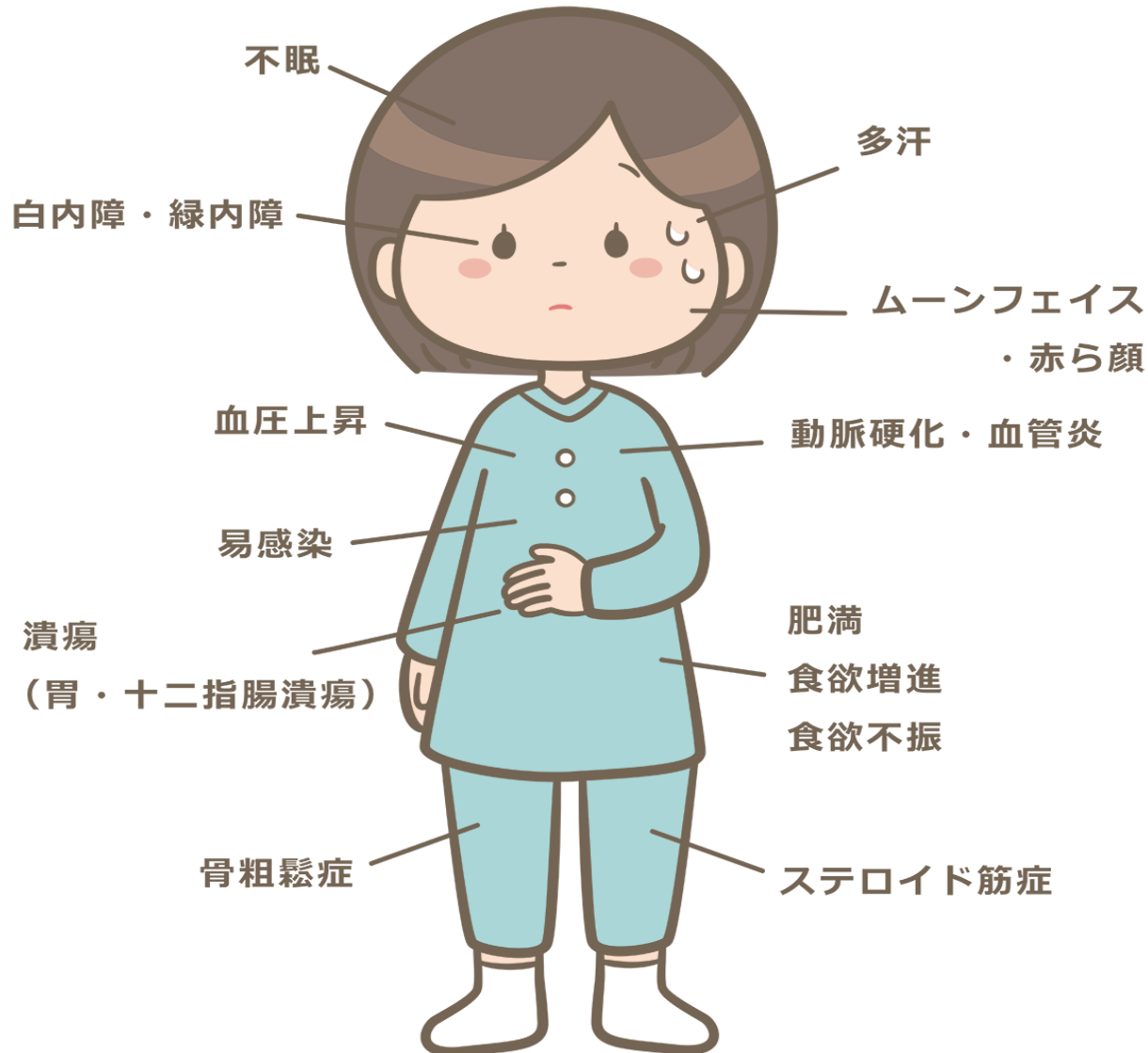
→(副作用)高血糖

例2) 免疫機能に対する作用

臓器移植など免疫に働き拒絶反応を抑えます。

→(副作用)易感染

ステロイドの副作用



ステロイド剤の副作用への対処法

①不眠

- 環境の改善（昼間は太陽を浴びるようにする）
- 眠剤の使用（睡眠リズムを整える）

②消化性潰瘍

- 胃粘膜保護剤や胃酸分泌抑制剤の服用

③糖尿病

- 食事療法など生活習慣の改善
- 経口血糖降下剤やインスリン注射

④免疫力低下による易感染性

- ・ **ダイフェン[®]**（合成抗菌薬）の内服
- ・ 手洗い・うがいの励行

⑤白内障・緑内障

- ・ 定期的な眼科受診
- ・ 緑内障： β 遮断点眼剤の使用

ステロイド剤の服用時の注意点

- 👉 ステロイド剤の服用は不可欠なものであり、副作用のリスクは避けられない
- 👉 副作用の多くは減量に伴って改善または消失する
- 👉 ステロイド剤の増減は決して自己判断で行わない
- 👉 減量は使用した期間が長いほど慎重に行う
 - ① 副腎機能を徐々に復活させるため
 - ② 減量による病気の再燃を防ぐため

(2) 免疫抑制剤

イムラン[®]錠 (アザチオプリン)



- ・副腎皮質ホルモンの効果が不十分、あるいは副作用のため使用できない場合に使用する
- ・免疫に関与する細胞の活性化を抑えて、異常な免疫反応を抑える
- ・50-100mg/日を使用する
- ・多くは、効果が発揮されるまでに時間がかかる(遅効性)
- ・主な副作用は感染症、骨髄抑制、貧血、白血球減少
- ・妊娠中は服用できません

(3) 胆汁酸製剤

ウルソデオキシコール酸錠



- ・軽症例や高齢者、合併症などでステロイド剤の投与が困難な症例で使用されることがある
- ・再発予防やステロイド剤の維持投与量を少なくすることができる
- ・600mg/日を使用する

原發性胆汁性膽管炎(PBC)

原発性胆汁性胆管炎 (PBC) の 薬物治療

(1) 胆汁酸製剤 (ウルソデオキシコール酸)

(2) フィブラート系薬剤 (ベザフィブラート)

(3) 副腎皮質ホルモン剤 (プレドニン®)

(1) 胆汁酸製剤

ウルソデオキシコール酸錠



- ・もともと肝臓から作られる「胆汁(胆汁酸)」の一成分
- ・肝細胞保護作用、利胆作用、免疫調節作用をもつ
- ・副作用: 軟便、下痢、吐き気、胸やけなど

(2) フィブラート系薬剤

ベザフィブラートSR錠



- ・高脂血症治療薬（PBCに対しては保険適応外）
- ・ウルソデオキシコール酸の効果不十分な場合に併用（1回200mg、1日2回）
- ・胆汁排泄作用・抗炎症作用をもつ
- ・副作用：筋肉痛、脱力感など
- ・妊娠中は服用できません

(3) 副腎皮質ホルモン剤(ステロイド剤)

プレドニン®錠 (プレドニゾロン)



- ・副腎皮質という組織から分泌されているホルモン
- ・抗炎症作用・抗アレルギー作用・免疫抑制作用をもつ

合併症への治療

- 皮膚掻痒症：レミッチ[®]錠
- 骨粗鬆症：ビスホスホネート製剤
- 食道静脈瘤：胃酸分泌抑制剤

・皮膚搔痒症



レミッチ[®]錠 (ナルフラフィン)

- ・ κ 受容体を活性化し、かゆみを抑制します
- ・ 服用方法: 1日1回夕食後または就寝前に服用
- ・ 副作用は不眠、便秘、頻尿など

・骨粗鬆症の予防

ビスホスホネート製剤(アレンドロン酸錠など)



・骨吸収(骨を溶かす)を抑えて、骨量を増やし

骨を折れにくくする

・服薬方法 : 朝起床時に水で服用し、少なくとも30分は

横にならず、飲食は避ける

・食道静脈瘤の予防



胃酸分泌抑制剤(ラベプラゾールNa錠など)

- ・PBCでは食道胃静脈瘤が生じやすい。
- ・胃酸の分泌を抑え、胃や腸の粘膜を保護することで、潰瘍を治療し、食道や胃の静脈瘤が破れるのを防ぐ。